

■ 来賓挨拶：国土交通省大臣官房技術参事官 下司 弘之



ご紹介いただきました、国土交通省大臣官房技術参事官を務めております、下司と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本日はここ敦賀市におきまして、日本海にぎわい・交流海道の総会並びに講演会の開催をされますこと心よりお慶び申し上げたいと思います。私も17、8年前になりますが第4回、5回あたりの事務局の一角を務めさせて頂いたことがございますので、非常に懐かしい思いで本日参加をさせて頂いております。

この日本海にぎわい・交流海道の取り組みでございますが、日本海沿岸の各地域が連携して、手を取り合ってそれぞれの地域の活性化に取り組んでいこうということで始まったというふうに承知をしております。平成7年に始まりましたので今年で21回目ということでございます。本当に各地域、手を取り合って努力をしてこられた、その各地域のご努力に心から敬意を表したいという風に考えております。ここ数年、日本に観光或いは仕事で来られる訪日外国人の数が非常に急拡大を続けております。昨年1300万人を突破いたしまして、今年はおそらくもうすでに去年の実績を超えておりますので、1800、900、あるいは2000万に近い数字になるのではないかとこのように言われております。その中でも大きなクルーズ船で日本に来て頂くお客さんが非常に多くなってまいりました。港湾局の中ではこの2000万のうちの少なくとも100万くらいはクルーズ船で来ていただきたいということで、クルーズ100万人という目標を掲げて取り組みを進めてきております。具体的には各港での大型クルーズ船を受け入れる体制、係留する施設も必要になって参りますので、そういう施設を確保しようということ、それから港には免税店がございませんので臨時に

免税店を設置する場合、その手続きを大幅に簡素化していこうということも制度として実現をして参りました。こういう取り組みによりまして、さらに訪日外国人の増加、それを地元のほうでしっかりと受け止めていただいて地域活性化の一助としていただければ何よりでございます。さて、本日のご講演でございますが、今、渕上市長の方からもご紹介がございましたが、ご当地ゆかりの杉原千畝さんのテーマに関連いたしまして白石様のほうからご講演をいただくと、それから今申しましたクルーズ船に関連した話題ということで由良様のほうからご講演をいただくという風に聞いております。私も非常に楽しみにしてございます。本日ご参加の皆様におかれましては本日得られた知見を各地域に是非持ち帰っていただいてまたそれぞれの地域、どうやったら元気になっていくのかという取り組みに反映をさせていただければ幸いです。最後になりましたが、この開催にあたりまして、渕上市長を始め事務局の方には本当にお世話になりました。大変なお手間がかかったらうという風に思いますが、市長並びに事務局の方に感謝を申し上げますとともに、ご参加の皆様方のご健勝とそれから一番大事なことでありますが、各地域がますます活性化して元気になっていくということを祈念させていただきまして私のご挨拶とさせていただきます。本日はおめでとうございます。